

こんにちは ふくま健治です

活動報告ニュース
2014年12月号

日本共産党、総選挙で8議席から21議席に大躍進

ご支援・ご協力ありがとうございました。



12月14日、投開票された衆議院総選挙で、日本共産党は全国では、比例得票で606万を獲得し20議席に。

(出発式でかんぱろうをする福岡) 九州・沖縄比例では、田村貴昭・真島省三両氏2名が初当選。小選挙区沖縄1区で赤嶺政賢衆議院議員の歴史的勝利を勝ち取りました。合計21議席で法案提出権を獲得しました。

大分県では比例得票3万9,940票、大分1区では山本しげる候補が1万3,113票(6,67%)を獲得し、比例での躍進に貢献しました。引き続き、来年のいっせい地方選躍進のために全力をあげます。ご協力をお願いします。

第4回定例会市議会が閉会

12月12日、市議会が閉会しました。一般質問の要旨を報告します。

消費税増税、物価上昇が市民生活を圧迫



(質問する福岡)

日本共産党中部地区委員会が実施した市民アンケートで以前に比べての暮らし向きへの設問には、少し悪い42%、悪い36%、

変わらない18%、良くなった2%、やや良くなった2%と、暮らし向きが悪くなったと答えた方は、78%にのぼっている。暮らし向きが悪くなった原因では、税金の負担増

24%、燃料・物価高騰24%、年金削減20%、社会保険料・国保・介護・医療の負担増19%と続いており、市民生活が一段と厳しさを増している。市民アンケートに示された市民の生活実態についての見解を求めました。

財務部長は、「アンケートの結果は、消費税増税や物価上昇等が負担となって差し迫った暮らしぶりを表しているものと認識している」と答弁。

安心できる介護保険に



(再質問する福岡)

新総合事業」によって、介護が必要な要支援者高齢者が、サービスから、排除されないよう

にすること。②特別養護老人ホームに入所を原則「要介護度3」以上とする制限はやめること。③保険料の2割負担は撤回すること。④保険料は国庫負担の大幅に引き上げを要求し、保険料を抑えること。⑤介護報酬の「6%以上」引き下げの撤回を要求すること。5点を質問しました。

福祉保健部長は「要支援者が必要なサービスから排除されることはない。保険料を軽減するため、国庫負担増額を要求するし、介護準備金を最大限活用する」などと答弁しました。

●高齢者のインフルエンザ、肺炎球菌ワクチン予防接種の市民税非課税証明に「後期高齢者医療負担限度額認定証でも可能となるよう検討する」と答弁しました。

暮らし・地域の問題など

ご意見・ご要望をおよせください

ふくま健治生活相談所

大分市東大道3-2-6
546-4505 (FAX兼用)
携帯090-2714-5612

